

【終了しました】

2019年度 区南部圏域高次脳機能障害支援普及事業 講演会



日時：令和元年9月10日（火）19時～20時30分

演題：「運転免許センターにおける高次脳機能障害者の運転再開に向けた作業療法士の仕事」

講師：白岩 淑子 先生

神奈川県警察本部 交通部 運転免許本部 運転教育課 適性審査係 作業療法士

座長：尾花 正義 医師

荏原病院 リハビリテーション科 医長

場所：大田区民ホール・アプリコ 小ホール

参加者：152名

参加職種：作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、ソーシャルワーカー、支援員（就労、生活）
行政など

今回は前回に引き続き、「高次脳機能障害者と運転」をテーマに、日本でリハビリテーション専門職として初めて神奈川県警に採用された作業療法士の白岩淑子先生に講演して頂きました。

運転免許センターでの適性検査・適性相談の内容とフロー、作業療法士の業務内容や役割と多岐に渡った内容について事例を交えながら分かりやすくお話いただきました。

普段知り得ない様々な免許行政の仕組みを知る機会となり、高次脳機能障がい者への支援において大変有用な知見を得られました。

今後の高齢化社会に向けて、高次脳機能障がい者の運転へのリハビリテーションの取り組みは益々需要が高まってくることが予想されます。

そのためにも、医療機関だけでなく行政を含めた多機関との連携が出来るよう当事業でも支援を検討していきたいと思っております。